

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	女性活動推進事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	まなび創造館							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	事業係						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		18 男女共同参画		2 あらゆる分野への男女共同参画を促進する									
		副目的	18-3		18-4											
	予算区分	款	10		項	5		目	9		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	67 %			委託	33 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	団体活動のネットワークの充実と活性化及び女性リーダーの育成・女性の自立を促す。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画フォーラムの開催、あいち国際女性映画祭の県との共同開催、国際女性デー・男女共同参画週間での名画鑑賞会、女性相談室の開設、女性のためのキャリアアップパソコン講座を実施した。 ・職員は、ウィメンズネットこまきなど女性団体の育成・指導を行い、名画鑑賞会など市民の意識高揚につながる事業の企画、広報活動、事業運営を行った。 <p>【直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼(382千円) ・女性相談室相談員謝礼(1,440千円) ・旅費(98千円) ・団体交流室消耗図書(47千円) ・女性活動推進事業委託(660千円) ・あいち国際女性映画祭2011小牧市会場業務委託(1,098千円) ・団体交流室用パソコン借上(142千円) ・名画鑑賞会フィルム・映写機借上(500千円) ・団体交流室用DVD購入(43千円) ・女性の会補助金(950千円) <p>◎24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいち国際女性映画祭の愛知県との共同開催をとりやめ、同期間に小牧市単独で映画祭を実施する ・女性相談室相談日を増やす ・ウィメンズネットこまき設立10周年記念事業の実施 														
受益者負担	あいち国際女性映画祭入場料(203千円)、講座受講料(80千円 パソコン講座1講座2,000円)															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,030	4,778	5,360	5,861	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,595	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	1.80	1.50	1.50	1.50
			人件費	千円	2,750	2,791	0	0
		費用合計	千円	9,375	8,632	6,423	6,924	
	対前年比	%		92.0	74.4	107.8		
財源	一般財源	千円	9,173	8,552	6,140	6,828		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	202	80	283	96		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	支援・育成団体等	団体	目標		25	25	24
実績				21	22	22	
ウィメンズネット加入団体	団体	目標		30	30	22	20
		実績		21	20	19	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
女性相談件数	件	目標		100	100	120	200
		実績		170	145	213	
国際女性デー等映画鑑賞会	人	目標		1,250	1,250	1,250	1,500
		実績		1,536	1,426	1,468	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	<p>団体活動に必要なスキルを身につけるために、国立女性教育会館の研修に参加して学習した。</p> <p>女性団体活動は、主体的にさまざまな事業を実施して活発にできている。</p> <p>平成22年度まで第2・4水曜日に県で実施していた相談事業が廃止になったため、市で継続した。第5を除く毎週水曜日と第1・3金曜日に実施した。</p>
	事業実施における課題等	<p>女性団体構成員の高齢化。</p> <p>母子家庭や生活保護受給者・非課税世帯など経済的に困難な状況にある女性を対象とした自立・就労支援のためのパソコン講座を実施しているが、受講料を無料としているため民間での実施は困難である。また、就労や転職・起業を考えている女性を対象としたパソコン講座を実施しているが、講座開催事業のパソコン教室との統合は困難である。</p>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>男女共同参画推進のための女性リーダーの育成・女性の自立を促進することができない。</p>	
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	<p>女性団体のネットワークは県内でも珍しく、男女共同参画社会をめざして市独自の展開をしている。</p> <p>今後も引き続き、女性団体の育成・指導を行い、市民の意識高揚につながる事業の企画立案が必要である。</p>	
	改善案等	<p>ネットワークの活動内容は年々スキルアップし充実したものとなっているが、女性団体の高齢化は否めない。</p> <p>今後は女性団体のさらなる活性化が必要である。</p> <p>パソコン教室について、講座開催事業との開催趣旨の違いを明確にする必要がある。</p>	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	映画の開催は、本事業の目的に対して効果が低いと思われるので、縮小を検討されたい。